

中堅社員技術研修カリキュラム

住宅技術に関して、経験 2 ～ 3 年以上の実務経験を得た中堅技術者のスキルアップと、独りで顧客に対応できるような技術営業の知識を体得できる実践的研修内容になっています。

【住宅構造技術篇】

項目	内容	時間	講義概要
1. 法規	・ 建築基準法概要（4号建築物に関わる事項を中心に）	1	主として住宅規模の建築物に関する基準法と関連法規の必要箇所を概説する。
	・ 関連法規概要		
2. 地盤と基礎	・ 地盤調査結果に基づく適切な基礎の選定と設計	1	地盤調査報告書を読み取り理解して、最適な基礎設計を行う
3. 構造躯体設計の知識	・ 基準法に決められた構造設計基準	4	基準法に定められた木造の構造チェック、耐力壁の有効な造り方、壁配置、壁量計算、偏心計算、接合金物の知識とコストダウンになるN値計算法の活用方法、
	・ 耐力壁（筋かい、面材耐力壁）		
	・ 接合部補強金物の知識		
	・ N値計算法・		
	計	6	

【住宅材料篇】

項目	内容	時間	講義概要
材料の知識	・ 木材（JAS、乾燥材、寸法規格、枠組壁工法用材）	2	構造用木材の物性の把握と正しい使い方、面材の有効な利用方法、適材適所に使用するための材料特性と施工留意点、
	・ 集成材		
	・ 合板（構造用合板、化粧用壁・床合板 etc）		
	・ その他		
	・ 各種面材（石膏ボード等） ：特性と施工留意点	4	
	・ 屋根材		
	・ 外装材（サイディング等） ：特性と施工留意点		
	・ 左官材料（モルタル等）：特性と施工留意点		
	・ 内装材（フロー材、木質系壁材、クロス等）		
	・ 建具（サッシ、木質建具）		
・ 設備に関する材料（電気、給排水衛生、その他）			

	計	6	

【住宅施工篇】

項目	内容	時間	講義概要
施工管理	木造軸組住宅の施工	6	木造軸組工法の施工計画の作成、廃棄物処理、安全計画策定、基礎から建て方各種工事、給排水電気工事引渡しまでの一連の作業のポイントと工事管理責任者の義務と心構えを概説する。
	・木造軸組住宅を支える職能		
	・施工計画		
	・産業廃棄物処理計画		
	・安全計画		
	・着工準備		
	・基礎工事		
	・木工事		
	・屋根工事		
	・板金工事		
	・建具工事		
	・タイル工事		
	・左官工事		
	・内装工事		
・塗装工事			
・電気設備工事			
・給排水衛生工事			
	計	6	

【住宅設計篇】

研修項目	内容	時間	講義概要
1．住宅営業設計総論	住宅設計の手順と顧客対応	1	信頼される顧客対応と営業設計のポイント
2．施主与件の整理	ヒアリングの仕方、ヒアリングシート作成	1	ヒアリングの下手な設計担当は成約できない、成功する提案をするためのヒアリングのポイント、
3．敷地調査報告書	周辺環境、法規制、敷地測量、敷地面積、現地調査、道路、公設柵、上水道、下水道、排水・汚水処理、ガス、電気等	1	顧客のための、一步踏み込んだ報告書の作り方、
4．配置計画		3	総合的な防犯環境設計を考慮した配置計画の必要性、
5．平面計画手法	ゾーンプランニング		平面計画の基本、ゾーンプランニングを習得する、

6 . 各室計画	各室計画、高齢化対応、ユニバーサルデザイン		平面計画に、高齢化対応、ユニバーサルデザインを導入する方法、
7 . 立面計画	洋風住宅の様式、和風住宅の様式、デザイン手法	2	特に洋風住宅の様式の基本を学び、格調或るデザインを会得する、
8 . インテリア概論		3	クロス、カーテン、家具等の正しい知識とインテリアデザインを学ぶ、
9 . 外囲計画	門、塀、垣根、アプローチ、植栽	1	総合的な外囲造園計画と知識
10 . 構法計画の基本	設計要項、耐力壁配置、水平・垂直構面、壁量・N値等計算演習	6	安全な家を設計するための、構法計画の基本知識と実技の習得、
11 . 基礎設計方法	地盤、地耐力と基礎設計		地盤調査に基づいた基礎設計法
計		18	

【住宅設計篇】

「営業力強化！設計プレゼンテーション実技習得セミナー」

研修内容	時間	講師
<p>これからは技術営業の時代である。しかし、営業設計の初期にユーザーに感動を与えられるような、訴求力のある設計提案が出来なければ、信頼を得ることは出来ない。</p> <p>住宅設計に魅力を与えるカラーリング・陰影・点景描画技法等、成功する営業設計プレゼンテーション手法の基礎実技を2日間で習得する。</p>	6 ~ 12	・阿部市郎（元三井ホーム（株）常務取締役設計部長・建築技術支援協会常務理事）